

## 武器輸出で TV が取材・放映

10月12日、毎日 TV が「ちちんぷいぷい」で「武器輸出解禁で日本が変わる？不安の声・・・」をテーマに放映されました。これは、戦争法案が強行に採決されようとして差し迫った9月11日、重工産業労働組合神戸支部が独自に戦争法案反対の宣伝活動を収録していたものです。

潜水艦を造っていた元従業員のインタビューやスタジオでのコメンテーターの発言を構成したもので約20分間放送されました。

内容は、神戸が武器輸出の最前線になると解説し、スタジオトークでは、元従業員の発言を紹介し「これまでは日本を守るために誇りを持ってきたが、他国で人を殺す戦争に使われるかもしれない」「間接的とはいえ、日本が死の商人になれば他国との軍事緊張が増す」

「自衛隊の海外派遣で防衛産業の従業員は、装備などのメンテナンスにイラクなどに派遣された。武器輸出も民間人の戦地派遣の呼び水に」などが発言された。また武器輸出3原則を踏まえこれまで武器輸出を禁じていたが、昨年「防衛装備移転3原則」が閣議決定され輸出が解禁された。また経団連が「利益のためではない、国策に沿ってやっていく」との発言に批判的な意見も出されている。重工産業神戸支部委員長の山本さんの街頭演説、日野書記長のインタビューが映っています。戦争への道を進めている安倍政権に警鐘を鳴らす作品になっています。放送された翌日の13日、川重の職場で話題になっていました。「出てましたね。教えてくれれば DVD に録っていたのに」などなど。

重工産業労働組合神戸支部

